

令和8年4月28日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 連合かわにし市民の会

議員名 福西 勝

※議員名欄は署名又は記名

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名

福西 勝

2 調査先

池田市

3 調査期間

令和8年4月28日

4 調査結果の概要

池田市クリーンセンターは昭和58年～供用開始され、43年が経過しています。

1日60トンが焼却可能な炉が3炉あり、1日70トン強の焼却があるので、常時2炉運転されています。

ビンとカンが分別されていないので、手選別されていたのは国崎クリーンセンターとの違いで、川西市と違った分別方法を学ぶことができました。

また、粗大ごみは前選別が行われ、特にコルク入りのベッドマットの解体が手間ということが聞き取れました。

持ち込みごみは計量器が1基のみですが、午前中も持ち込みごみを受け入れており市民サービスの充実はとても参考になりました。

施設全体的に老朽化が進んでおり、施設の手狭感が見えました。